

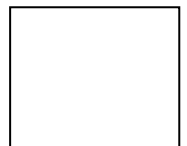
<b>2026年度 昭和女子大学 大学院入学試験 7月期 生活機構研究科 心理学専攻 修士課程 心理学講座 (一般入試・外国人留学生入試)</b>	氏名									
<b>「心理学基礎」 問題用紙・解答用紙 (1/2)</b>	受験番号									採点

問1 次の各項目の文章を読んで、内にあてはまる用語を下の解答欄に記入しなさい。

1. 自らの認知に関する認知は①と呼ばれ、例えば内省的思考や行動のプランニングを支える役割をもつ。
2. 臨床心理的地域援助において、ある領域の専門家が、支援の中で起こる困難や問題の解決のために、異なる領域の専門家から助言・援助を受けることを②と言う。
3. Vygotsky, L. S. は、問題解決場面において子どもが自力で解決できるレベルの周辺に、もう少しで自力解決可能なレベルの部分が存在しており、教育はここに関わるべきだと主張し、この部分を発達③と呼んだ。
4. 尺度水準のうち、数値には大小や順序の意味はなく、異なるグループやカテゴリーを表すために用いられるものを④尺度と呼ぶ。
5. 刺激の検出が可能である場合と不可能である場合の境目において、検出に最低限必要な刺激強度のことを⑤と呼ぶ。
6. Heider, F. は、認知者、それに関係のある人物、事物または対象、の三者間関係の認知のダイナミクスを扱う⑥理論を提唱した。
7. ⑦は、テスト、調査などで得られる多数の変数の変動を、より少ない数の潜在変数を仮定して説明しようとする多変量解析法であり、大きく分けて探索的と確認的の2つのアプローチがある。
8. ストレッサーにさらされて心理的に不健康な状態に一時的になったとしても、心理的健康状態に戻し維持しようとする個人の特性や能力は⑧と呼ばれる。
9. 他者が注意を向ける対象に自分も注意を向けることを⑨と呼ぶ。⑨は、子どもが対象と語との関連性を理解し、語彙を獲得する際に重要な役割を果たす。
10. Maslow, A. H. が提唱した欲求階層説において、自らの可能性や能力を最大限に発揮しようとする欲求は⑩欲求である。

**【解答欄】**

①	②
③	④
⑤	⑥
⑦	⑧
⑨	⑩



<b>2026 年度 昭和女子大学 大学院入学試験 7 月期 生活機構研究科 心理学専攻 修士課程 心理学講座 (一般入試・外国人留学生入試)</b>	氏名									
<b>「心理学基礎」 問題用紙・解答用紙 (2 / 2)</b>	受験番号									採点

問2 不安への介入プログラムを行った研究に関する以下の記述を読み、各問いに答えなさい。

介入プログラムの効果を検証するためには、介入前後の不安を測定する必要がある。そこで、まずは(1)不安を測定するための新たな尺度を作成した。次に、介入前の不安を測定するために、研究への参加に同意した 500 名を対象に、新たな不安尺度への回答を求めた。(2)そのうち、不安得点が高かった上位 20%の人たちを対象に介入プログラムを実施したところ、不安得点の平均値は介入前よりも介入後において統計的に有意に低いことが示された。

1. 下線部(1)について、この尺度の信頼性を検証するために、どのような方法があるか、考えられる方法を2つ説明しなさい。


2. 下線部(2)について、この結果は、介入プログラムの効果以外にどのような理由によって生じた可能性があるか、考えられる理由を2つ説明しなさい。










2026 年度 昭和女子大学 大学院入学試験 7 月期 生活機構研究科 心理学専攻 修士課程 (一般入試)	氏名								
「英語」 問題用紙・解答用紙 (1 / 2)	受験番号								採点

I. 次の英文を読み、以下の設問に答えなさい。

著作権上の理由から以下 12 行省略

出典. Casasanto, D. (2009). Embodiment of abstract concepts: Good and bad in right- and left-handers. *Journal of Experimental Psychology. General*, 138(3), 351–367. を改変

問1 下線部(a)を和訳しなさい。

問2 下線部(b)を和訳しなさい。



2026 年度 昭和女子大学 大学院入学試験 7 月期 生活機構研究科 心理学専攻 修士課程 (一般入試)	氏名									
「英語」 問題用紙・解答用紙 (2 / 2)	受験番号									採点

II. 次の英文を読み、以下の設問に答えなさい。

著作権上の理由から以下 10 行省略

注) regulatory effectiveness of support (RES): サポートの制御効果性

出典. Zee, K. S., Bolger, N., & Higgins, E. T. (2020). Regulatory effectiveness of social support. *Journal of Personality and Social Psychology*, 119(6), 1316–1358. を改変

問1 下線部(a)を和訳しなさい。

問2 下線部(b)を和訳しなさい。

